

第11回 臨床心理士による地域実践を考えるシンポジウム

遊びとプレイセラピー

～遊んでるだけでどうしてよくなるの？～

プレイセラピー(遊戯療法)とは、遊びを通してこころの問題の解決やこころの成長を目指す、子どもを対象とする心理療法ですが、「遊んでるだけでどうしてよくなるの？」という問いもよく聞きます。今回のシンポジウムでは、そうした問いに少しでも応えるべく、遊びのもつ治療的・創造的な力について様々な角度から考えていきます。

演題

SSN (人形遊び技法) と遊び

石谷 真一氏

本学大学院人間科学研究科教授・臨床心理士

PCIT (親子相互交流療法) と遊び

國吉 知子氏

本学大学院人間科学研究科教授・臨床心理士
PCIT L1トレーナー

プレイセラピーと遊び

須藤 春佳氏

本学大学院人間科学研究科准教授・臨床心理士
PCIT認定セラピスト

指定討論者

黒川 嘉子氏

奈良女子大学大学院生活環境科学系
臨床心理学領域准教授・臨床心理士

《専門》臨床心理学、プレイセラピー、乳幼児心理臨床

総合司会

小林 哲郎氏

本学大学院人間科学研究科教授・臨床心理士

日時

2019年3月2日(土)

13:30~16:30

(受付13:00~)

場所

西宮市大学交流センター
ACTA西宮東館6階大講義室

定員
130名

事前申し込み
不要

参加無料



【お問合せ先】

神戸女学院大学大学院 心理相談室 地域実践部 TEL: 0798(51)8554 (10:00~18:00)